

# いじめのない筑紫野市をみんなで作ろう！

## いじめ しない・させない・みのがさない

子どもには人間として健やかに生きていくための当然の権利があります。しかし2018年度の文部科学省の調査結果によると、いじめで多かったのは、「冷やかしいやからかい、悪口やいやなことを言われる。」「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。」「仲間はずれ、集団による無視をされる。」でした。

いじめを受けた子どもにとって、学校生活はつらく苦しいものであり、不登校や自死させてしまうなどの痛ましい報道が増えています。いじめは、命に関わる行為であり、「昔もあった。」などの一言ですまされない大きな人権侵害行為です。

いじめを「しない」・周りの人に「させない」・いじめを「みのがさない」という強い気持ちをもつためには、次のことが大切です。

- 大人が、子どもたちに対して「いじめ」が許されないことを教える。
- 「いじめ」をさせない・みのがさない方法や必要性を教える。
- 子ども同士がコミュニケーションを深め、互いを思いやる気持ちを育てる。

いじめをなくすには大人の関わりが不可欠です。だからこそ、子ども・学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていきましょう。

## いじめのない筑紫野市をつくるために

### 【学校】

- だれもが、安心して、豊かに生活できる学校づくりをめざす。
- 児童生徒へのアンケートや個別の面談など、児童生徒一人ひとりの状況の把握に努める。

### 【子ども】

自分のまわりで、いじめがあると思われたときは、その人に声をかけることや、まわりの大人にすぐに相談することなどに努める。

### 【家庭】

- 子どもの話を聞く時間をつくる。
- 子どもの様子にアンテナをはる。
- 保護者同士の関係をつくる。
- 「SOSは出していい」ことを伝える。

### 【地域】

- 大人が自分の地域に関心や関わりをもつ。
- 子どもにとって「心の居場所」「社会生活や社会性を磨く」「人との関わりを学ぶ」場として子どもと関わったり声をかけたりする。